

米IT業績に不透明感

4～6月期決算 FB・MSともに赤字

米国の大手IT企業の今年4～6月期決算が出そろった。フェイスブックが株式上場後初の決算で赤字になり、マイクロソフトも1986年に上場してから初めて赤字に転落した。快進撃が続いていたアップルの伸びも鈍り始め、IT業界の先行きが見通しづらくな

米国の大手IT企業の今年4～6月期決算が出そろった。フェイスブックが株式上場後初の決算で赤字になり、マイクロソフトも1986年に上場してから初めて赤字に転落した。快進撃が続いていたアップルの伸びも鈍り始め、IT業界の先行きが見通しづらくな

前年同期が黒字のため、比較できず。▼は赤字かマイナス

	純損益	売上高
アップル	88(20%)	350(22%)
インテル	28(▼4%)	135(▼3%)
グーグル	27(11%)	122(35%)
ヤフー	2(▼4%)	12(▼1%)
フェイスブック	▼1(—)	11(32%)
マイクロソフト	▼4(—)	180(4%)

「売り上げなどの見通しは従来予想より鈍くなる」と語った。

一方、アップルとグーグルは増収増益だった。ただ、アップルは純利益が前年同期より約2割増えたものの、主力のスマートフォン(多機能携帯電話)「iPhone」(アイフォーン)の販売台数が今年1～3月期より26%減り、収益拡大のペースにブレーキがかかってきた。

グーグルは主力のネット

オランダ仏大統領とメルケル独首相は27日、欧州の政府債務(借金)危機への対応について電話協議し、「ユーロ圏を守るために、あらゆる措置を講じる」とする共同声明を発表した。26日の欧州中央銀行(ECB)

自然エネルギー 地域の熱意、育てよう



編集委員 安井 孝之

直径14センチ、長さ60センチほどのステンレス製の筒の先に、プロペラがついている。筒には電気コードがつながっている。水の流れて発電する小型水力発電機である。モーターを組み立ててや部品の加工をする長野県飯田市の中小企業「マルヒ」がつくった。

科学技術振興機構と飯田市の企業5社が、今春から開発してきた。マルヒはその中核企業。今月始まった自然エネルギーの全量固定価格買い取り制度(FIT)を受けて、小水力発電が増えることら

み、参入した。後藤大治社長は「来年度は1000台の生産を目指す」と話す。

3キロワット程度の発電能力を持つ従来の小型水力発電機は200万～300万円というが、マルヒの発電機は58万円(税別)だ。

安くするために工夫した。精密機器企業の下請けでモーターをつくってきた。モーターと発電機の基本構造は同じだ。モーター部品を転用して、低価格を実現した。

小水力発電の現場は様々

だ。どのように使うかのノウハウが必要だ。完成した2台の発電機は、九州大と群馬大で実証試験をして、当面は使い勝手を探る。だがすでに、「工場排水で発電できないか」といった問い合わせがあるという。

開発は飯田市の産業振興策とも重なる。牧野光朗市長は「自然エネルギーを地産地消し、お金を地域で回す。そこから雇用やビジネスを生み出す」という産業モデルをつくりたい」と話す。

飯田市はNPOなどと協力して、保育園や公民館といった公共施設の屋根に太陽光パネルを設置する「おひさま発電所」をつくってきた。太陽光パネルは、市内の建物の5%超にまで普及した。これに加えて、小水力発電を増やし、エネルギーの地産地消の割合を高めてゆくといい。

自然エネルギーについて、経団連などには「不安定」「コストがかかる」という批判がある。だが、地域が着実に自然エネルギーに向かっている現実もあるのだ。

FITは、再生可能エネルギー特別措置法が昨年の通常国会で成立したことで導入された。この法案が閣議決定されたのは、震災直前の3月11日午前だった。当初は3月14日の閣議で決まる予定だったが、当時の経済産業省の担当課長がたまたま前倒しを提案し、地震直前に決まった。

歴史に「もしも」はないが、3月11日の朝に閣議決定されていたければ、震災後の国会のゴタゴタで閣議決定は遅れ、早期には成立しなかったかもしれない。FITの導入はその点、幸運だった。それを生かそうとする意志が、自然エネルギーの将来を左右する。問題点を指摘するばかりでは、挑戦は始まらない。

波間風問

はもんふうもん